



福島隆史(ふくしま・たかし)

公認会計士。(株)サステナビリティ会計事務所  
/サスティナビリティ・コミュニケーションズ(株)代表  
取締役としてコンサル/レポート制作/保証を  
行う。著書「CSRエピソード」幻冬舎 2017年。

# SDGs取り組み 好事例のご紹介

エデュケーション  
SDGsに取り組んでいる企業の好事  
例として、NTTコミュニケーションズ株  
式会社が推進しているフィリピンの教育  
課題解決の取り組みをご紹介します。

フィリピンが成長維持するには人材へ  
の教育が不可欠です。国策の一つに、貧  
困により学校に通えない生徒やドロップ  
アウトした生徒を対象に週末を利用し  
て学校卒業を目指すオープン・ハイスクー  
ル・プログラムがあるのですが、教員や教  
材も十分に確保できておらず、根本的な  
解決に結びついていません。NTTコミュ  
ニケーションズ(株)はICT(情報通信  
技術)を活用して学習機会を創出するこ  
ういう貢献を現地でスタートさせています。

このような事例をご紹介しますと、海  
外に出て非常に困っている人を支援しな  
ければSDGs課題解決の好事例とはい  
えないですねと思われるかもしれませ  
ん。しかし私が皆様に伝えたいこの取り  
組みの素晴らしさは、次にお伝えするプ  
ロセスにこそあります。

この取り組みは、NTTコミュニケーション  
ズ(株)の社員の方が日々業務をこ  
なしながら海外の社会課題に向き合っ  
るのは困難なことなので、海外において社  
会貢献活動に豊富な経験・知見を持つ

NPO等との連携を試みるどころからス  
タートしたそうです。そしてNPO法人  
e-Educationとの連携を決  
定、彼らの取り組みの一つ、フィリピン南  
部ミンダナオ島を舞台とするフィリピン  
の教育課題についてICTで解決するこ  
とを支援テーマに決定されました。次に、  
本プロジェクトへの参加者を社内で公募、  
選ばれた社員の皆様がグループワークを  
繰り返しながら、フィリピンの教育課題  
の改善に繋がるICTソリューションを  
現地教育局に提案していったそうです。

NPOとの連携、活動する社員の社  
内公募、現地への具体的な貢献、素晴ら  
しい取り組みではありませんか。しかしよ  
り基本的なところで、この取り組みの素  
晴らしがあります。いままでやってきた  
活動にSDGsアイコンを当てはめて公表  
するという、ほとんどの企業がその枠内  
から抜け出せずにいる言い換えの取り組  
みではないという点について、まずは皆様  
のご参考にしてください。詳細はNTT  
コミュニケーションズ(株)webサイトを  
ご覧ください。(https://www.ntt.com/  
about-us/csr/magazine/feature.html)

## SDGs

Sustainable Development Goals  
(持続可能な開発目標)

2015年国連が採択した持続可能な開発のための  
2030年アジェンダ

